

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公 英
幹事 兼 子 聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019-20年度国際ロータリーテーマ

第1611回例会

令和元年12月12日 (18:30～19:30)



○スマイルBOX

- 佐藤幸彦会員 (メリークリスマス。)
- 安部和夫会員 (家族ともどもお世話になります。)
- 永野文雄会員 (メリークリスマス。親睦委員会の皆様、お世話様です。)
- 宮本多可夫会員 (クリスマス例会、今日は楽しく親睦を深めましょう。)
- 仁平喜代治会員 (クリスマス例会おめでとう。今夜は皆で楽しもう。)
- 石部辰雄会員 (52回目の結婚記念日にあたり、素晴らしいプレゼントを戴きまして、誠にありがとうございました。)
- 関谷亮一会員 (クリスマス例会を準備されました親睦委員会の皆さんに感謝致します。)
- 大竹憂子会員 (お誕生日お祝いありがとうございました。)



▶第1611回例会出席状況 (R元年12月12日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	7名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	32名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	51
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	62.75%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



中目公英会長

皆さん、こんばんは。今日は西ロータリークラブ恒例のクリスマス例会に、会員はもちろんですがご家族の方々にもご参加をいただきまして、本当にありがとうございます。7月1日から始まって12月、半年の間会員の皆さん方が家庭にいろいろとご苦労をおかけしたかもしれませんので、そのご恩返し、また今年の忘年会も兼ねましてロータリー恒例のクリスマス例会であります。どうぞよろしくお願いいたします。私自身は神主でありまして、皆さん方大半は仏教徒ですから、プロテスタントのロータリーの思想のもと、キリスト教もあれば仏教もあれば神主神社もあるという、今年は例年にも増して宗教が混在したようなクリスマス例会になっておりまして、その混ざり合った分ご利益が倍増でございます。楽しんで今晚一晩過ごしていただければと思っております。今日は楽しい例会の前ですから長く喋りません。以上で会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

■本日のプログラム

クリスマス例会

○親睦委員会

須藤正樹委員長



只今からクリスマス例会を始めたいと思います。司会を務めます親睦委員会の須藤です。よろしく申し上げます。まず初めに、会長から一言申し上げます。

○会長挨拶

中目公英会長

それではもう一度、少しお話をさせていただきます。今日のクリスマス例会のために親睦委員会、須藤正樹委員長をはじめとする委員会の皆さん方にはいろいろと企画を練っていただきまして、こちらの「グランドエクスプロ那須白河」に例会場を移動いたしまして、安部会員のお子さん方をはじめとする素晴らしいバンド演奏が入る予定になっております。皆さんと一緒に楽しんでいただければと思います。大体ひとこと言うことは常になっておりますので、先程の例会では省きましたが懇親会の前にちょっとだけお話をさせていただきます。クリスマスはキリストの誕生を祝うというわけですが、キリストの誕生日ではありません。キリストの誕生日は不明であると思います。ちょっとクリスチャンじゃないので、聡君いつだっけ。

クリスチャンの方は、4月12日が復活祭で、そっちのほうがキリスト教にとっては重要なお祭りです。12月24日がどうしてかといろいろあるわけですが、キリスト教の前にあったヨーロッパのゲルマン人の風習をキリスト教が取り込んで現在のようになっています。それはどういうことかという、まさにもう間もなく12月22日の日は冬至で太陽が一番短い時で、古代の方々はヨーロッパであっても日本でも同じですが、日の短い時というのは一番生命力、命の力が弱くなっているというふうに考えるというわけでありまして。その弱い時にお祝いをする、太陽さんもっともっと元気になってくださいというお祝いをするということで、死から生へ命が生まれ変わるわけです。日本の場合だと、冬至の日には冬至カボチャを食べて弱まった生命力を強めるという風習がありますが、ヨーロッパの場合はクリスマスでもってキリストの生誕をお祝いしつつ、その冬至から太陽が復活して、今日日が長くなって、生命力の復活をお祝いするというのがこのキリスト教のクリスマスの本来的な意味内容です。クリスチャンの方はキリストの誕生をお祝いをするのでしょけれども、キリスト教徒でない私たち日本人の多くの方々は冬至を迎えるにあたって日が短くなっていて、自分の生命の力が弱まっている時に太陽の力の再生を願うイベントをすることで、これからますます力をもう少し奮い起こしましょうという意味がございます。親睦委員会の方々が考えてくれた企画のもと、実はそういう深い意味もあるんだということの頭の片隅において今日の例会をクリスマスの誕生を祝い、それを楽しんでいきたいと思っておりますので、ひとつ皆さん賑やかにいたしましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

○兼子聡幹事



補足します。クリスマスに馬小屋で生まれたんです。キリストの誕生日なんです。4月12日は復活祭で、キリストが復活した日その日だと思います。

○乾杯

鳴島三夫パスト会長



皆さん、改めましてこんばんは。今日は中目年度のクリスマス例会ということでございますので、時間の許す限り皆さんで親睦を深めて楽しくやりたいと思います。それでは、皆さんのご健勝をご祈念いたしまして乾杯したいと思います。乾杯。



○司会
池田浩章副SAA





○中締め
関谷亮一パスト会長



○出席報告
石部辰雄副委員長

